

明治維新150年を締めくくる巨弾歴史小説が誕生。

名門・開成学園に脈打つDNAは、
維新を駆け抜けた男の「人の仕立て方」から始まった。

開成をつくった男、 佐野鼎

柳原三佳 著

東大合格者数で日本一、政官財学をはじめ、
各界に人材を輩出しつづける名門校、開成学園。
その前身である共立学校を設立したのは、
万延元年遣米使節団の一員として、初めて世界を見渡した日本人だった。

◆発売日：2018年12月11日 ◆予価：本体1800円(税別) ◆四六判368ページ ◆ISBN：978-4-06-513584-6



明治の初め、まだ学制が發布される前、現在の御茶ノ水駅からほど近くに、日本で初めてと言ってもいい、
正則英語を本格的に学べる学校が設立された。その名を「共立学校」という。現在、東京大学合格者数で
日本一を誇り、政官財学をはじめ、各界に人材を送り出している「開成学園」の前身である。

長く続いた武士の世が終焉を迎え、近代化へと大きく舵を切り始めた幕末、幕府の使節団の随員として
世界一周を果たし、アメリカ、ヨーロッパの文化や教育を仔細に記録し、「人の仕立て方」こそが国を創
ると予見して自らの官位を捨て、人を育てる事業に私財と己を投じた男がいた。

佐野鼎 ―。これは、近代日本に新しい教育の礎を築き、後の世に多くの逸材を輩出することになる、
ひとりの男の物語である。

※著者は、自らが佐野鼎の傍系の子孫にあたる、ノンフィクション作家の柳原三佳氏。
徹底した取材で埋もれかけた資料を集め、世に出ていない佐野鼎の人物像について立体的に描きあげました。

柳原三佳（やなぎはら・みか）

1963年、京都市生まれ。ノンフィクション作家。交通事故、司法問題をテーマに執筆、講演を行う。主な著書に、『自動車保険の落とし穴』（朝日新書）、『家族のもとへ、あなたを帰す―東日本大震災犠牲者約1万9000名、歯科医師たちの身元究明』（WAVE出版）、『遺品―あなたを失った代わりに』（晶文社）など。また、児童向けノンフィクションに、『柴犬マイちゃんへの手紙』『泥だらけのカルテ』（ともに講談社）がある。なお、『示談交渉人 裏ファイル』（共著、角川文庫）はTBS系でドラマシリーズ化、『巻子の言霊―愛と命を紡いだ、ある夫婦の物語』（講談社）はNHKでドラマ化された。

キリトリ

◆お客さまへ……ご注文は、お近くの書店へお申し込みください ※個人情報、本書をお客さまの元へお届けすることのみに使用します。転用はいたしません。

注文書

書名／開成をつくった男、佐野鼎 柳原三佳：著

定価：本体1800円(税別) 978-4-06-513584-6 を _____ 冊、注文します

お名前 _____ 様

ご住所 〒 _____

お電話 _____

書店印・IDコード

●お近くに書店がない場合、小社業務委託先「ブックサービス」にてご注文いただけます。フリーダイヤル 0120-29-9625 (受付時間9:00～18:00)

【本書の内容についてのお問い合わせ先】 電話 03-5395-3535 講談社 第二出版部(児童図書編集)

◆書店さまへ……ご注文は講談社総合受注センターまでお願いいたします。(FAX番号 03-5395-4048)

講談社